



甲府の女性向け高級眼鏡企業

YPC(福井)が子会社化

第三者承継販売網活用へ

眼鏡フレーム企画製造のYPC(本社福井市浅水町、山崎博道社長)がこのほど、女性向け高級眼鏡製造卸売のサンキ眼鏡(甲府市)を子会社化した。後継者不在に伴う第三者承継の形。サンキ眼鏡が持つ女性顧客や関東・甲信越の販売網を生かし、事業拡大を図る。

YPCは、美浜町の水晶

浜の波をイメージしたフレームデザインが特徴的な「Swishore(スイショア)」、サングラスの「Schillernd(シラント)」などの自社ブランドを展開し、海外向けにも販売。オーダースーツと眼鏡のセット販売の事業も立ち上げている。

サンキ眼鏡は1971年創業で、女性向けの高品質

YPCの子会社となる契約に調印したサンキ眼鏡の上村前社長(前列左)と山崎社長(同右)＝10日(スターシップホールディングス提供)



でエレガントな眼鏡に特化した自社ブランド「S・プロログ」を展開。ただ、

上村征子社長が81歳と高齢になり、後継者も見つからず、事業承継先を探してい

た。

M&Aコンサルティングのスターシップホールディングス(東京都、島嘉伸社長)が仲介し、8月10日に両社が株式譲渡契約を締結。山崎社長がサンキ眼鏡の社長に就任し、従業員約20人はそのまま引き継いだ。子会社化により、グループとして3年後に売上高10億円を目指す。山崎社長は「上村さんと会い、両社の方向性が一致し協力関係が築けると判断した。互いの販売ルートを生かして相乗効果を出し、異業種分野への展開も考えていきたい」としている。(青木伸方)